



おおしま

尼崎市立大島小学校学校だより
令和3年7月号
令和3年6月30日発行

7月になりました

いよいよ7月ですね。朝、南門のところで空を見上げてみると、もうすっかり夏の空です。



生活委員会の朝のあいさつ当番の皆さんも、暑さに負けず、大きな声で元気にあいさつしてくれています。「すごいなあ、頑張ってるなあ」とそばで見ている、とても頼もしい気持ちでいっぱいです。当番の皆さんはいつも「おはようございます」と、登校してきた人たちに気持ちを届けるように声をかけてくれます。そして、「あいさつが、歩道橋のところまでよく聞こえているよ」と、生徒指導の高月先生や、見守りに立ってくれている先生方が、南門のところに戻ってきた時に、当番の皆さんに知らせてくれます。上級生の頑張りを作ってくれている清々しい雰囲気を感じられます。



そして最近はまだ、大島交番の警察官の方が毎日、門の近くに立ってくれるようになりました。子どもたちの安全を見守ってくださるとともに、子どもたちが登校する時間帯は、南門と下稲葉公園との間の道路は車両通行止めになっているため、そのことを知らずに入ってきた車を止めて、注意喚起をしてくれたりしています。以前は、同じ車が何度もスピードを出して入ってきてということがありましたが、最近は、車が入ってくるのがほとんど無くなりました。

さて、6月20日に兵庫県の緊急事態宣言が解除となりました。しかし、その後もまん延防止措置についてはまだ適用されるようです。約1か月前の時期には、毎日のように、市内の小中学校でPCR検査の陽性者が出て、学校が臨時休校という、教育委員会からの報告がありましたが、今はその数も随分と少なくなってきたように感じます。ただし、まだまだ安心できる状態ではないので、学校においてもマスク着用、手洗い、うがい、室内換気などは引き続き行っていきます。



最後に、毎日とてもむし暑くなってきました。学校では熱中症指数を測り、基準と照らし合わせながら、必要に応じて20分休みなどに運動場で遊ぶ時には、校内放送で、「帽子をかぶる」「激しい運動はひかえる」「水分補給をするように」と注意をうながしています。指数が高くなった時は、運動場で遊べないこともあります。水分補給はしっかりと行い、熱中症にかからないようにくれぐれも気をつけましょう。

1学期も残すところわずかとなりました。今後ともご支援ご協力をどうぞ宜しくお願いいたします。

(校長 井上 雅登)

大島の風

三年生になり三ヶ月が経ちました。クラスにも慣れて、元気に学習に取り組んでいます。三年生になって社会と理科の学習が始まりました。社会では町探検をして大島小学校の校区の様子を学習した後、尼崎市の様子を詳しく学習しています。自分が住んでいる地域に興味を持ってもらえたらと思います。理科ではホウセンカやマリーゴールドの種を植えて、大きく育つよう世話をしています。芽が出たり、葉の数が増えたりするたびにうれしそうにしている姿が見られます。さらに、モンシロチョウとアゲハチョウの幼虫も育てています。無事に成虫になった時にはみんなで歓声をあげて喜んでいます。命の大切さを感じてもらえたらと思います。

植物や昆虫と同じように子どもたちも日々成長しています。私たちも共に成長していけたらと思います。(三年担任一同)



2学期はじめの予定

25日(水) 始業式 委員会
9月1日(水) 給食開始

7月の予定

1	木	大島子ども祭り
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	朝会 振替日
6	火	100マス認定会(かけ算)
7	水	委員会④(卒業アルバム写真撮影)
8	木	代表委員会(13:10)
9	金	オンライン社会見学(3年)
10	土	
11	日	
12	月	名札・遅刻調べ
13	火	
14	水	クラブ②(卒業アルバム写真撮影)
15	木	
16	金	出前おさかな授業(5年) 給食終了
17	土	
18	日	

大島コラム

「楽しい」と「楽しむ」

ゲームをして「楽しい」、テレビを見て「楽しい」、鬼ごっこをして「楽しい」。何かから影響を受けて自分の中で起こる感情が「楽しい」と言えます。この感情自体に問題はありません。とても幸せな感情です。しかし、この「何か」から与えられる「楽しい」という感情ばかり追い求めると、楽しさの原因をその「何か」に求めてしまいます。もし、楽しくなければ、「楽しくないのは○○のせい」「おもしろくないのは○○のせい」「うまいかないのは○○のせい」となってしまいます。

一方、「楽しむ」という言葉はどうでしょうか。「楽しむかどうか」は自分で決めることです。与えられたことがたとえマイナスのことであっても、プラスに変える可能性がある言葉です。「○○すれば楽しめる」「○○な方法もあるんじゃないか」と。考えは前向きになり、うまいかなくても、原因を何かのせいにする必要もなくなります。一旦、楽しくなさそうなことでも、「どう楽しむか」を自分で考え、前向きになることはとても素敵です。

これから先、どんな状況でもプラスに変えられる力を身につけていきましょう!

教頭

